

トヨタ自動車株式会社 多治見サービスセンター

工場所在地 〒507-0802
岐阜県多治見市山吹町1丁目1番1

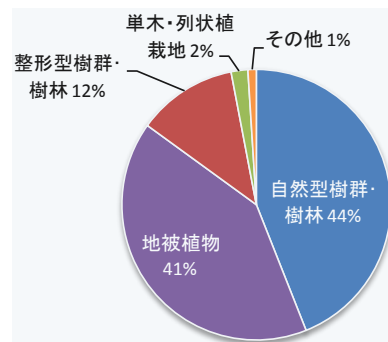
主たる業種 自動車製造業

主要製品 ◇国内外販売店エンジニアへの実践型修理技術教育
◇修理情報提供/修理技術開発及び高難度修理支援

ウェブサイト [http:// www.toyota.co.jp](http://www.toyota.co.jp)

緑地等の種別面積割合

(緑地等の総面積：57,888m²)



工場緑化のキャッチフレーズ

地域との調和と採掘跡地の失われた緑地再生

緑化等の概要

立地場所は鉱山採掘跡地であり山肌があらわになっていたため、「地域との調和と採掘跡地の失われた緑地再生」をランドデザインコンセプトに掲げ、緑化計画を策定、実施した。敷地内のゾーニングを行い、防災や憩いなどの機能を持たせるなど、各ゾーンに適した樹種選定等を行っている。

トヨタ自動車 多治見サービスセンターは岐阜県多治見市の北東部にあり、鉱山採掘跡地のため大部分が裸地、かつ高台に位置していることから市街地、国道 19 号から見ると山肌があらわになり景観を損ねていました。そこで、土岐川水系の生態系を考慮した周辺緑地帯を形成しつつ、多治見市の自生種を中心に持続的な緑地の再生をめざし、大きく6つのゾーンにそれぞれコンセプトを持たせました。

特に、早期に緑地再生が可能な手法で植栽すると共に、暑い街「多治見」を考慮し樹木の中でも、熱環境調整効果のある蒸散量の高い樹木を選定しました。

また、弊社のバイオ緑化技術で開発した環境改善植物も数多く植栽し、四季折々で美しい景観が楽しめることで、癒しや憩いの場の提供にも寄与しております。

今後も、トヨタ環境チャレンジ 2050 のチャレンジ 6「人と自然が共生する未来づくりへのチャレンジ」とも呼応した活動を進めてまいります。

緑地のようす



エントランス: 景観向上ゾーン

ポケットパーク: 癒し・憩いゾーン



遊歩道: 生物多様性ゾーン

T-Village: 生物多様性ゾーン

四季折々に咲く花



*2013年5月に従業員が1,100本植樹 市道との境界: 防災・緩衝ゾーン/環境コミュニケーションゾーン(森づくり)

全国の工場緑化担当者の皆様へ

トヨタ自動車(株)多治見サービスセンターでは、前途に記述したコンセプトのもと従業員のみなさんだけでなくセンター内で働く方々や地域の方を巻き込み、森づくりに取り組んでまいりました。

今後も周辺地域緑地環境を意識しつつ「トヨタ環境チャレンジ2050」に基づく取り組みを継続してまいります。